

せらび

第一二七号

— 発行 —

社会福祉法人
せらび後援会
0144-75-2328

第128回 理事会が開催される 2024年度の法人運営方針や事業計画案、予算案など審議

本年3月26日に第128回社会福祉法人せらびの理事会が開催されました。理事会では2024年度の事業計画案と予算案を中心に審議が行われ、令和4年12月に改正された障害者総合支援法や今年度の報酬改定の見直し内容を踏まえて、今後の障害福祉サービスの諸事業に向けた展開などについて話し合いました。

法人の事業計画については、苫小牧市及び千歳市の地域生活支援センターの基幹相談支援事業や機能強化事

たイラストはそれぞれ味があって素敵なものばかりです。レジンのキーホルダーは色や形などお好みに応じて作ることもできます。

少しずつではありますが、新しい作品をお届けできるよう今後もメンバー、スタッフ共に力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。



利用者の希望する 生活の実現に向けて より良い支援を

苫小牧地域生活支援センターで行っている事業に、指

業、北海道の委託事業である精神障がい者地域生活支援事業、地域活動支援センター事業などを例年と同様に事業などを例年と同様に、地域で暮らす利用者の相談支援や生活支援に引き続き取り組んでいくこと、4カ所の就労支援事業所では、就労継続支援B型事業を行いながら、個々の働き方を尊重した環境を保障しながら、ステップアップが可能なチャレンジ事業を継続するなど、多様な働き方が実現出来る就労支援事業を進めること、一般就労を希望する方への

定特定相談支援事業というものがあります。計画相談支援とも呼ばれ、介護保険でいうケアプランのようにお一人お一人の希望する生活の実現に向けて、障がい福祉サービス等を活用するためのプランを作成し、随時サービス調整等を行う業務です。

令和6年度の障がい福祉サービス等報酬改定では、相談支援の質を高めるための取り組みや、多機関が連携して支援を行うことを評価する内容となっています。

当センターにおいても関係機関との連携を一層深めつつ、より良い相談支援を行えるよう研鑽に努めたいと思えます。



就職や定着が支援できる取り組みにも引き続き力を入れていく計画内容となっています。一方、法人職員に向けては、処遇改善やキャリア形成にむけた資格取得等の支援など、働きがいのある職場環境をさらに整えていくことが確認されました。



土曜フログラム 様々なフログラムで 余暇の過ごし方を支援 就労支援センターまろにえ

3年を超えるコロナ禍で、土曜プログラムの制限や恒例行事の中止を余儀なくされてきましたが、今年度からは通常の活動を再開することになりました。4月20日にはカラオケのプロ

花ボランティア アルドール

この春もアルドールの花壇は様々な花で賑わっています。ボランティアの方々のご厚意でスイセン、パンジー、ムスカリなどが植えられました。メンバー、職員で日々水やりを行い、大切に鑑賞させていただきます。毎年ありがとうございます。



【アルドール花壇 撮影 2024.5.8】

グラムを行い、多くの利用者が参加し楽しみました。その他にも、手打ちうどんや書道、野外散策など、様々なプログラムを実施し、作業とは異なるチャレンジや交流、余暇の過ごし方を支援しています。秋には日帰り旅行、冬には新年会も予定しています。日ごろ、忙しく作業活動をしている利用者の皆さんがリフレッシュできるような企画にしたいと思えます。

新たに手芸品の 作製、販売開始 就労支援センターOmnet

この度Omnetでは新しい手芸品の作製、販売を始めました。星やクマなどの型を使ってレジジンという材料で作ったものと、プラ板にイラストを描いて作ったキーホルダーとストラップです。メンバーが描い

支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。
(2024年1月27日～5月15日)

▽ 後援会会費

(2023年度分) 北岸由利子様
(2024年度分) 森晶子様

2023、2024年度の会費納入にご協力、お願い致します。年会費は左記の通りです。

- ・ 個人会費 一口 五千円
- ・ 団体会費 一口 二万円
- ・ 賛助会費 一口 三千元